

2020年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年8月7日

上場会社名 株式会社サンワカンパニー

上場取引所 東

コード番号 3187 URL <http://www.sanwacompany.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山根 太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 津崎 宏一

TEL 06-6359-6721

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第3四半期の業績(2019年10月1日～2020年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	8,051	7.8	22	—	27	—	10	—
2019年9月期第3四半期	7,469	6.1	△14	—	△17	—	△15	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	0.63	0.62
2019年9月期第3四半期	△0.90	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期第3四半期	4,636	2,139	46.1	122.53
2019年9月期	4,694	2,177	46.4	125.03

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 2,139百万円 2019年9月期 2,177百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2020年9月期	—	0.00	—	—	—
2020年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※2020年9月期の配当予想については未定です。

3. 2020年9月期の業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,114	8.8	36	△59.2	33	△60.9	21	△56.1	1.25

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期3Q	17,858,400 株	2019年9月期	17,816,200 株
② 期末自己株式数	2020年9月期3Q	398,800 株	2019年9月期	398,800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期3Q	17,432,594 株	2019年9月期3Q	16,668,009 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。2020年9月期の配当予想は未定ですが、今後の業績等を総合的に勘案し配当を決定次第、速やかに開示いたします。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益を背景に、雇用情勢や所得環境の改善が続き、緩やかな回復傾向の動きがみられていましたが、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、各国の経済活動が強く制限されるなど、先行きは不透明な状況が続いております。

新型コロナウイルス感染症の拡大により緊急事態宣言が発令されたことを受け、当社では2020年4月及び5月に全国のショールームを臨時休館し、6月以降も地域によっては営業時間の短縮や完全予約制の導入など営業活動の一部が制限される状況となりましたが、主にECサイトで商品を販売していることから、現時点で業績への影響は限定的となっております。このような状況の中、当社は売上成長を維持しつつ高収益な企業体質に変革することを目指し、国内事業の収益基盤を強化すると同時に、海外事業の拡大成長に向けた土台作りを進めました。

国内事業におきましては、人気商品に顧客のニーズを反映した新しい仕様やカラー等のバリエーションを追加して商品ラインナップを拡充したほか、ECサイトでは複数の商品を組み合わせた空間イメージを掲載し、主力商品だけでなく関連商品についても更なる販売拡大を図りました。また、前事業年度に行ったポイント還元施策の結果、ポイントを利用した購入が増加したことや、ウィンターセールやアーリーサマーセールといったセールでの販売が好調であったことも売上の拡大に寄与いたしました。なお、これらのセールではオンラインストア限定のポイント還元を行っており、ポイント利用によるリピート購入を促進することで、引き続き収益の基盤となる既存顧客のリテンション強化を図ってまいります。

当社は2019年8月22日に創業40周年を迎えており、この節目に、これまで支えてくださった皆様に直接感謝の気持ちをお伝えするため、2019年10月に創業の地である大阪で創業40周年記念式典を、2019年11月に東京で創業40周年記念パーティーをそれぞれ開催いたしました。式典では新たに策定した経営理念「くらしを楽しく、美しく。」を発表し、世界の人々の「くらし」で最も必要とされる企業集団を目指すことを皆様の前でお約束いたしました。

海外事業におきましては、2019年11月に中国の販売代理店が杭州に約400坪の旗艦ショールームをオープンし、今後はここを基点に中国全土へ事業を展開してまいります。また、2019年10月にシンガポール、2019年12月にタイの現地法人とも新たに販売代理店契約を締結し、既に新規販売代理店との取引も開始するなど、着実に海外販路を拡大しております。

このほか、倉庫移管に伴う一時的な倉庫費の増加や人員増加に伴う人件費の増加に加え、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、感染防止対策やリモートワークへの対応といった職場環境の整備により増加した費用があった一方、ミラノサローネ国際家具見本市の開催が延期になったことや、働き方の見直しによりオンライン会議システムの活用が促進されたことなどは、販売費及び一般管理費の抑制に繋がりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高8,051百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益22百万円（前年同期は営業損失14百万円）、経常利益27百万円（前年同期は経常損失17百万円）、四半期純利益10百万円（前年同期は四半期純損失15百万円）となりました。

なお、当社は、住宅設備機器、建築資材のインターネット通信販売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ57百万円減少し、4,636百万円となりました。その主な要因は、投資有価証券の増加50百万円、土地の増加27百万円、売掛金の増加24百万円があった一方で、商品の減少67百万円、ソフトウェアの減少55百万円、未着商品の減少21百万円があったことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ19百万円減少し、2,497百万円となりました。その主な要因は、短期借入金の増加200百万円、買掛金の増加22百万円があった一方で、1年内返済予定の長期借入金の減少72百万円、前受金の減少60百万円、長期借入金の減少54百万円、未払法人税等の減少48百万円があったことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ38百万円減少し、2,139百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の減少41百万円があったことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期の業績予想につきましては、2019年11月14日に公表いたしました内容に変更ありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響については現時点では軽微であり、通期業績予想は一旦据え置きますが、今後の需要動向は不透明であり、業績への影響が判明した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	704,012	715,819
売掛金	683,509	708,017
商品	1,050,301	983,038
未着商品	50,448	29,295
貯蔵品	30,596	32,214
前渡金	43,437	38,259
前払費用	68,451	67,955
その他	2,371	7,710
流動資産合計	2,633,128	2,582,310
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	652,156	651,110
工具、器具及び備品（純額）	53,190	46,562
土地	749	28,731
建設仮勘定	6,848	1,262
有形固定資産合計	712,945	727,667
無形固定資産		
特許権	37	—
商標権	6,457	8,566
意匠権	2,797	2,317
ソフトウェア	208,882	153,697
無形固定資産合計	218,174	164,581
投資その他の資産		
投資有価証券	200,408	250,459
関係会社株式	0	0
長期貸付金	49,382	49,281
関係会社長期貸付金	133,000	133,000
長期前払費用	346,183	335,370
差入保証金	447,281	447,147
繰延税金資産	78,470	71,356
その他	8,475	8,475
貸倒引当金	△133,000	△133,000
投資その他の資産合計	1,130,202	1,162,090
固定資産合計	2,061,322	2,054,338
資産合計	4,694,451	4,636,649

（単位：千円）

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	673,461	696,411
短期借入金	500,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	165,300	93,294
未払金	201,012	161,338
未払費用	79,211	80,837
未払法人税等	51,603	2,779
未払消費税等	4,851	50,691
前受金	509,388	449,138
預り金	7,564	17,207
賞与引当金	51,153	30,782
ポイント引当金	19,799	17,778
その他	7,921	5,766
流動負債合計	2,271,268	2,306,027
固定負債		
長期借入金	80,002	25,003
資産除去債務	163,472	164,026
長期預り保証金	2,000	2,250
固定負債合計	245,474	191,279
負債合計	2,516,742	2,497,307
純資産の部		
株主資本		
資本金	586,042	587,582
資本剰余金		
資本準備金	536,042	537,582
資本剰余金合計	536,042	537,582
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,200,986	1,159,685
利益剰余金合計	1,200,986	1,159,685
自己株式	△145,562	△145,562
株主資本合計	2,177,508	2,139,288
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	199	54
評価・換算差額等合計	199	54
純資産合計	2,177,708	2,139,342
負債純資産合計	4,694,451	4,636,649

(2) 四半期損益計算書
 (第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	7,469,061	8,051,903
売上原価	4,906,153	5,206,548
売上総利益	2,562,907	2,845,354
販売費及び一般管理費	2,577,346	2,823,208
営業利益又は営業損失(△)	△14,438	22,146
営業外収益		
受取利息	3	944
為替差益	—	55
受取家賃	—	1,101
受取保険金	290	50
受取補償金	—	2,745
協賛金収入	—	2,000
物品売却益	301	324
法人税等還付加算金	191	—
その他	441	858
営業外収益合計	1,227	8,081
営業外費用		
支払利息	2,106	1,797
支払手数料	278	950
為替差損	714	—
その他	700	—
営業外費用合計	3,799	2,748
経常利益又は経常損失(△)	△17,010	27,479
特別損失		
固定資産売却損	69	—
固定資産除却損	985	176
特別損失合計	1,054	176
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△18,064	27,302
法人税、住民税及び事業税	1,442	9,173
法人税等調整額	△4,492	7,178
法人税等合計	△3,049	16,351
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△15,015	10,951

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積りについて）

新型コロナウイルス感染症拡大は経済に大きな影響がありましたが、2020年5月25日の政府による緊急事態宣言の全面解除を受けて、経済活動が再開されております。

現時点においては、新型コロナウイルス感染症拡大による事業等への影響は、軽微と捉えており、今後、当事業年度末に向けて、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に縮小していくと仮定して、会計上の見積り（繰延税金資産の回収可能性、固定資産の減損の判定）を行っております。

なお、現在入手可能な情報に基づいて会計上の見積りを行っておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況や影響については不確定要素が多いため、その状況によっては今後の当社の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

（セグメント情報）

当社は、住宅設備機器、建築資材のインターネット通信販売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。